

# 少子化対策×子育て支援×地域参加に関するアクションリサーチ

2025年度地域プロジェクト研究 II / IB宮下クラス受講生  
地域政策学部 教授 宮下聖史

## テーマ・目的

地域参加の3側面としての「場所」「関係」「担い手」に着目しながら、地域共生や地域再生に関わる実践を通じた貢献と学びに資すること

全体を通じてサービスマーケティングの手法を用いた事前・事後学習や振り返りを行い、「学びの言語化と成長の可視化」を試みた。なお、今回のプロジェクトの詳しい内容や成果については、後日報告書を発行する予定である。

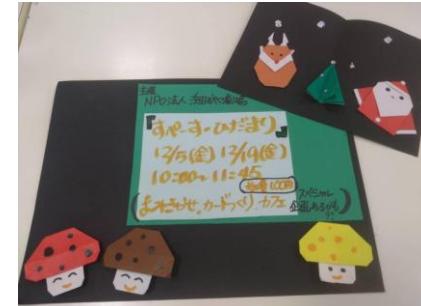
## 主な活動の経緯・内容

### 少子化問題×子育てのあり方×多様な生き方

- ◇関連する資料・文献の講読(『地味にすごい探究学習のはじめかた/すすめかた』『エフェクチュエーション—優れた起業家が実践する「5つの原則」』など)
- ◇子育てや性の多様性に関する現状把握
- ◇一般社団法人インパクトラボ、認定NPO法人くさつ未来プロジェクト訪問
- ◇NPO法人浜田おやこ劇場の活動(子育て中の方の居場所づくりなど)への参加
- ◇浜田市子ども・子育て支援課へのヒアリング
- ◇島根県西部人権啓発推進センターへのヒアリング

#### 〈小括〉

- ◇テーマ設定については紆余曲折を経たが、浜田市の子育て支援を行っているNPO法人浜田おやこ劇場の活動に参加することで、子育て中の親やスタッフの方にインタビューを行い、関係性をつくることができた。
- ◇テーマに関連するヒアリングを行うことで、理解を深めた。
- ◇地域では多様な主体による協働が行われていることを知り、それらを充実させていくためにも、人と人とのつながりが重要であることを実感した。
- ◇関連する活動や施策の認知度や理解度を向上させていく方策を検討することは今後の課題である。



少子化問題×子育てのあり方×多様な生き方 活動の様子

### 何もない場所から居場所を生み出す

- ◇出雲いりすの丘合同会社と連携し、出雲いりすの丘公園での現地活動の実施
- ◇全体での現地訪問、顔合わせ
- ◇イベント・駐車場班、交流・休憩班、サウナ・温泉班、レストラン・体験・宿泊班の4つの班に分かれて、合計10回現地活動。敷地内の整備作業
- ◇出雲市の観光政策について、出雲市観光課へのヒアリング
- ◇サードプレイスについての学習など
- ◇最後に全体での現地訪問を行い、各班から担当エリアの今後の活用方法についてプレゼンテーション

#### 〈小括〉

- ◇作業の前後で見違えるほどに敷地内が整っていった。約17年の時を経て、2008年から一部施設を除いて休園状態となっていた出雲いりすの丘公園に光をあて、再生に向けて大きな一歩を踏み出すことができた。
- ◇上記の到達点のうえで次年度以降は、多様な人々が出会い、交わる居場所として意味づけること、加えて今年度の提案を引き継ぎ、実装・実行の可能性を探っていききたい。
- ◇大手事業者に委ねない地域協働を通じた地域再生のモデルを実践的に作っていききたい。



Before

After



何もない場所から居場所を生み出す 活動の様子

#### 〈現地活動にてお世話になった方々より〉

- ◇人とつながることは素晴らしいことだと思います。コロナ禍を経て、ここが居場所であることに気づきました。学生さんにも関わりがプラスになることを楽しんでほしいと思います。
- ◇皆さんと過ごしたこの時間を振り返って、私の中に一番強く残っている感覚があります。それは、人が本気で動くと、空気そのものが変わるということでした。一つひとつの行動が、この場所の雰囲気を実際に前へと進めてくれました。